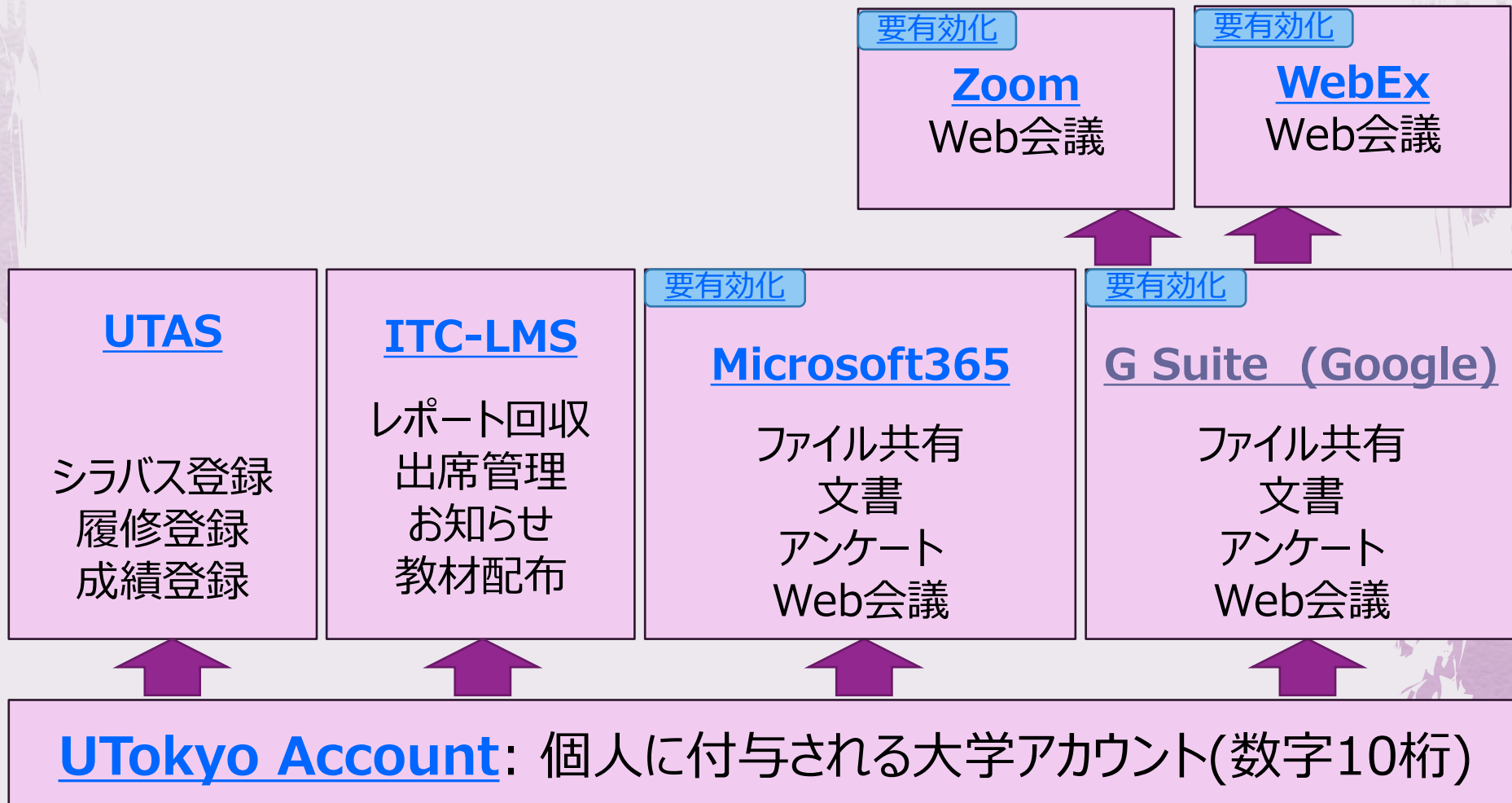


授業に必要なICTシステムの概要

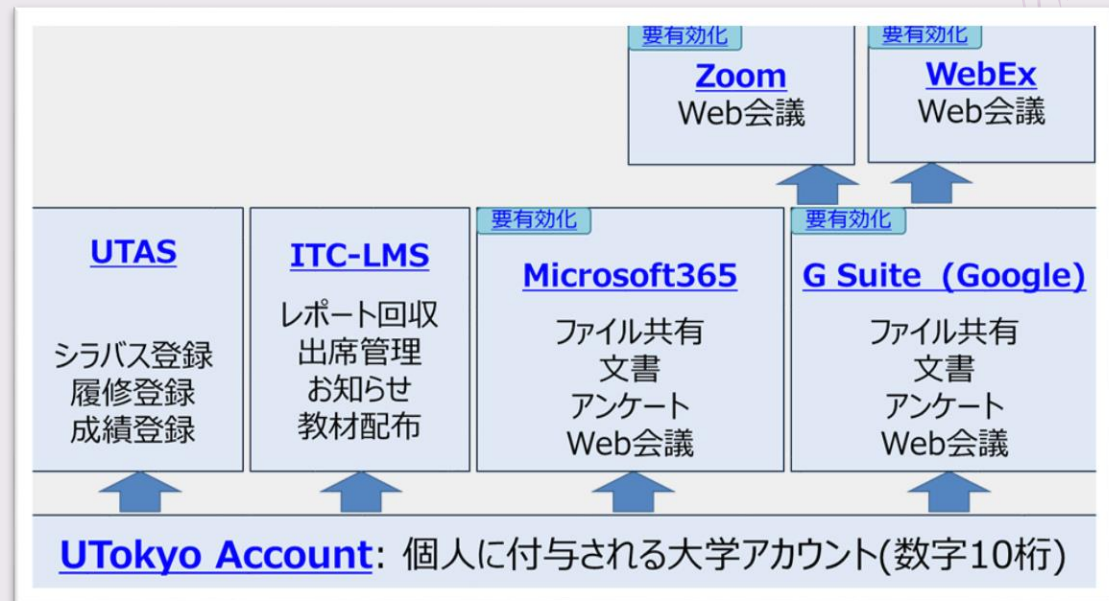
情報基盤センター 田浦健次郎

概要

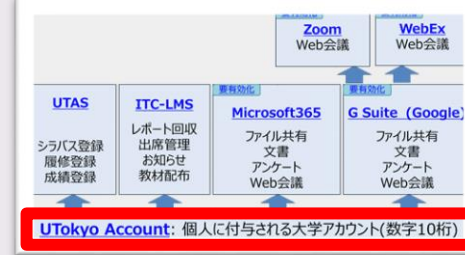


以降の内容

- ◆ UTokyo Account
- ◆ UTASとITC-LMS
- ◆ Microsoft 365とG Suite (Google)
- ◆ ZoomとWebEx

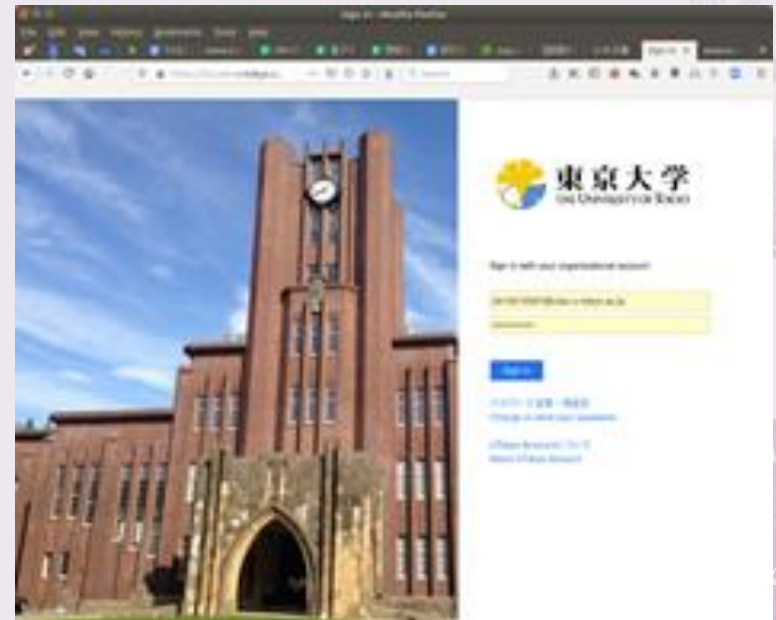


UTokyo Account



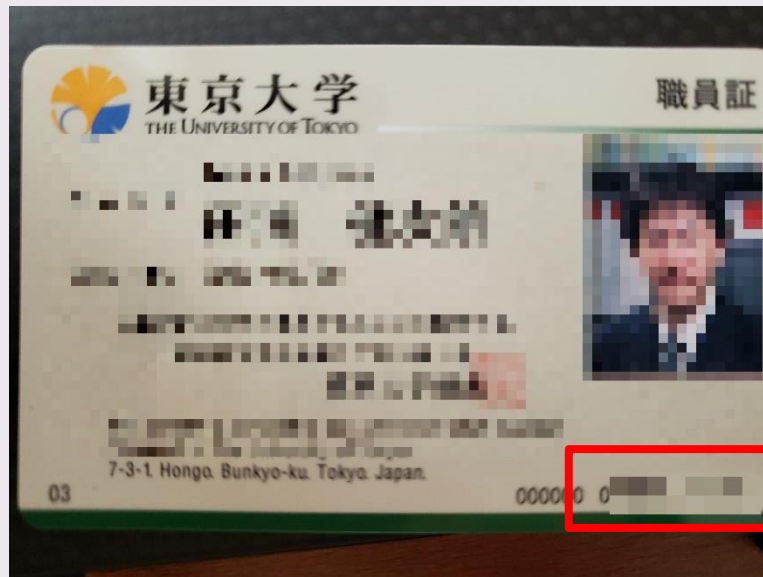
- ◆ はじめにUTokyo Accountありき
- ◆ すべてのサービスの根っこ
 - ◆ 大学アカウントでZoomを主催
 - ◆ シラバスや成績を（自分で）登録（UTAS）
 - ◆ 授業URLの通知やレポート回収でLMSを使う
 - ◆ ...

すべてに必要



UTokyo Accountの正体

- ◆ 10桁の数字です
 - ◆ 2519285617 みたいな
- ◆ 常勤教職員全員に発行され、身分証明証に書かれています



ココ

非常勤の場合

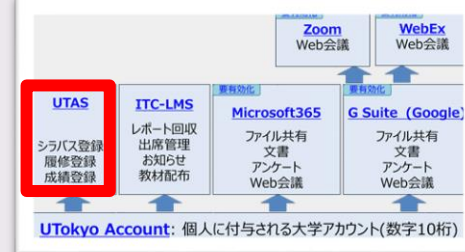
- ◆ 常勤・非常勤問わず、授業に必要なならば割り当てるのが基本です
- ◆ 非常勤（あるいはアレンジご担当）の先生へ：必要なのに割り当てられていないということがあったら、事務へご連絡ください
 - ◆ 必要な例：シラバス登録、成績をつける、LMSで課題を出す、Zoom授業をホストする、etc.
 - ◆ 不要な例：ホストの先生に招かれてゲスト講演をする（だけ）
- ◆ 専攻・部局事務のみなさま：必要な先生には割り当てるようお願いします

2020年9月入学の学生への発行

◆ 専攻事務の皆様

- ◆ 9月からの新入生がUTAS, ITC-LMS, Zoomなどの利用準備ができるよう、**UTokyo Accountの早めの発行**をお願いします
- ◆ 9/8付け 本部学務課教務チーム → 各学部・研究科(教育部)教務担当者
 - ◆ 年次処理とは別に、新入生の学籍データを未作成の部局等は早急に作成いただき、UTokyo Accountの発行作業を進めてください。

UTAS



◆ 学務システム

◆ ログイン

◆ <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/>

◆ UTokyo Account で

◆ 教員

◆ シラバス登録

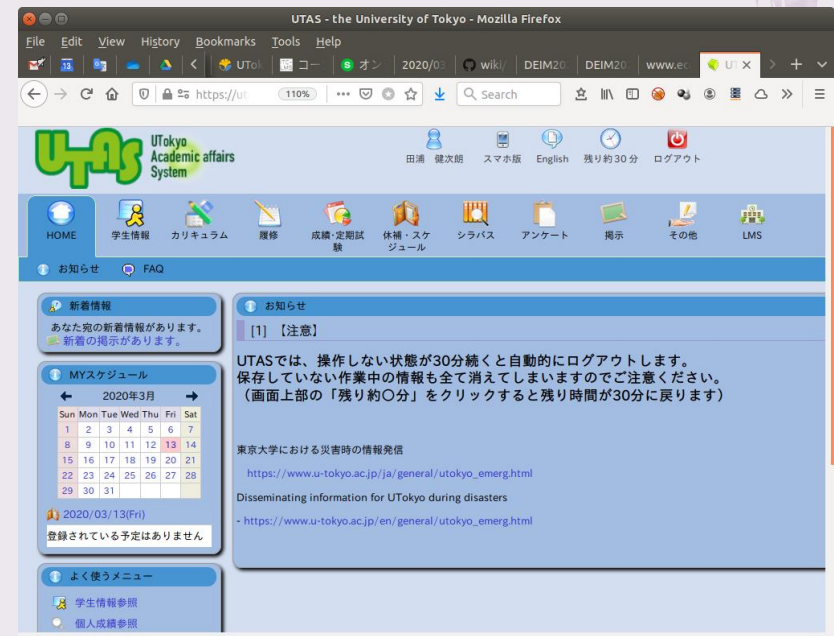
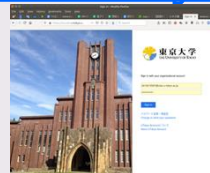
◆ 成績登録

◆ 学生

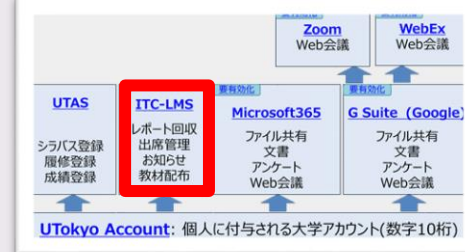
◆ シラバス検索・閲覧

◆ 履修登録

◆ 成績確認



ITC-LMS



◆ 学習管理システム

◆ ログイン

- ◆ <https://itc-lms.ecc.u-tokyo.ac.jp/>

- ◆ UTokyo Account で

◆ 機能

- ◆ 出席管理

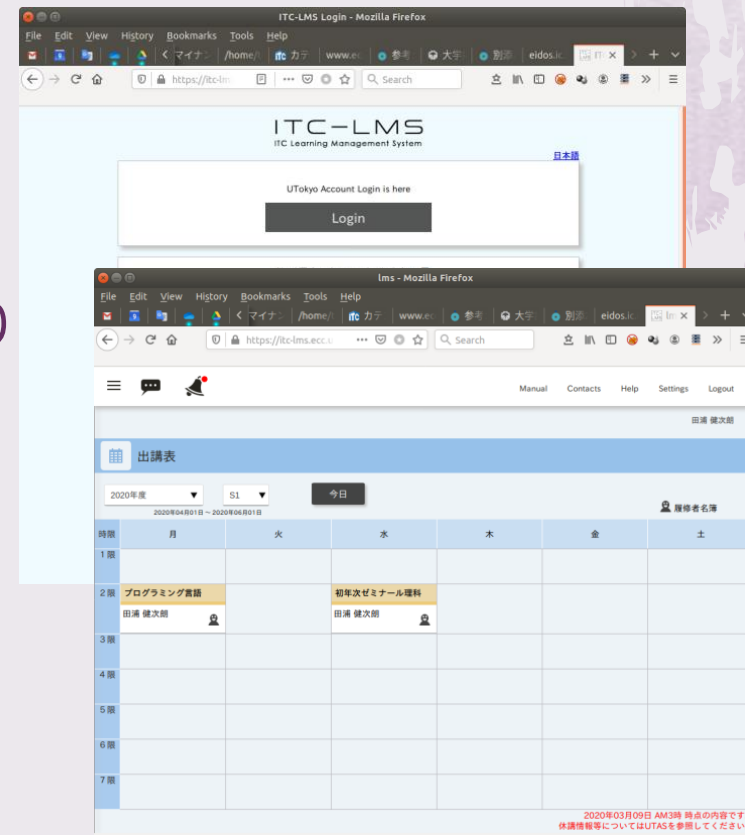
- ◆ 学生と教員、学生同士のやり取り

- ◆ 課題を出してレポート回収

- ◆ テスト

- ◆ 授業URLを知らせる

◆ 詳しくはChapter 3へ



ITC-LMS

- ◆ 一般にLMS（学習管理システム）は以下のよう
な、これがないと意外に面倒なことをやっ
てくれるシステム
 - ◆ クラスのメンバーと連絡を取る
 - ◆ クラスのメンバーにファイル（課題など）を配る
 - ◆ クラスのメンバーからファイル（レポート提出な
ど）を受け取る
 - ◆ 課題の提出状況一覧を見る
- ◆ ITC-LMSではクラスのメンバーの登録も、教
員がやる必要ない（履修学生を勝手に登録し
てくれる）

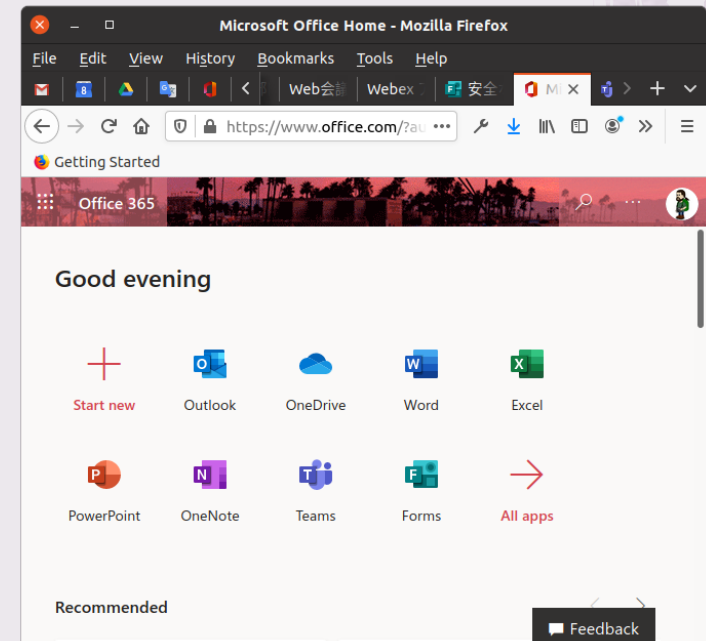
UTASとITC-LMSが両方あるのはいかなるものか ...?

- ◆ はい m(_ _)m
- ◆ 今のところは以下のような区別とお考え下さい...
- ◆ UTAS : 学期前、学期後の処理
 - ◆ シラバス登録、成績登録
- ◆ ITC-LMS : 学期中（授業）の支援
 - ◆ 出席、レポート回収、etc.
- ◆ 覚え方、方便であって分かれていることを正当化しているではありません

Microsoft 365

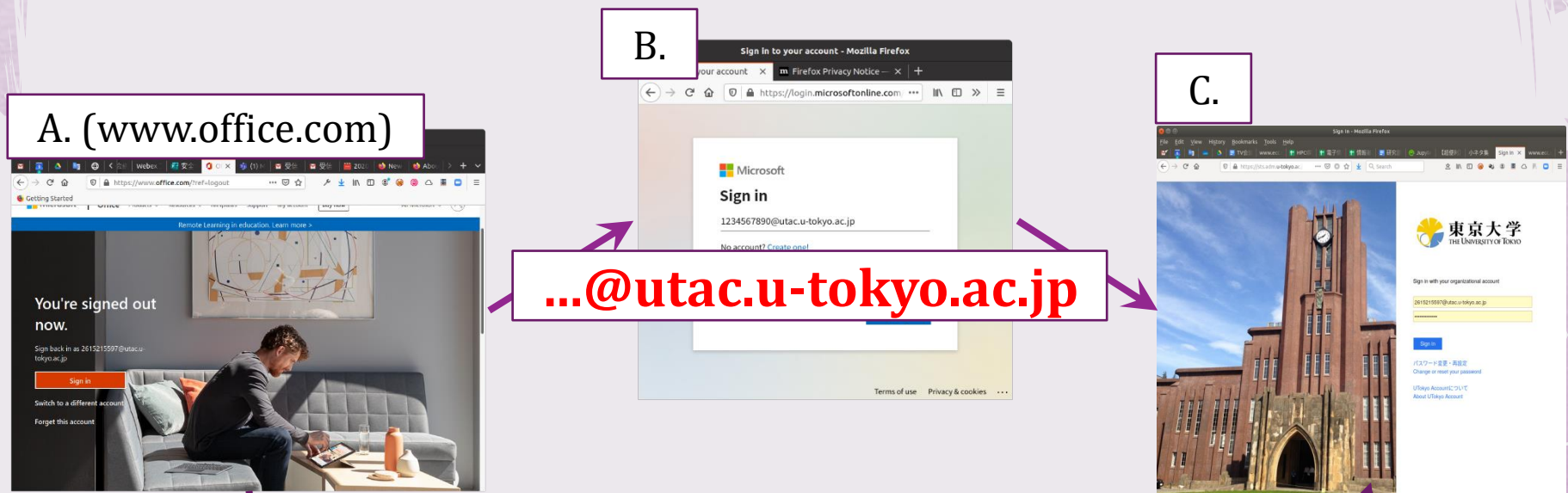


- ◆ 有効化（初めて使うとき）
 - ◆ UTokyo Account利用者メニュー → Office 365 ProPlus利用許諾
 - ◆ <https://utacm.adm.utokyo.ac.jp/webmtn/LoginServlet>
- ◆ サインイン
 - ◆ <https://www.office.com/>
 - ◆ UTokyo Account（罫あり; 次スライド）
- ◆ 機能
 - ◆ ファイル共有: OneDrive
 - ◆ 文書作成: Word, Excel, PowerPoint
 - ◆ アンケート: Forms
 - ◆ Web会議, chat, etc.: Teams
 - ◆ LMS的機能: Class Notebook



Microsoftサインイン時の罠

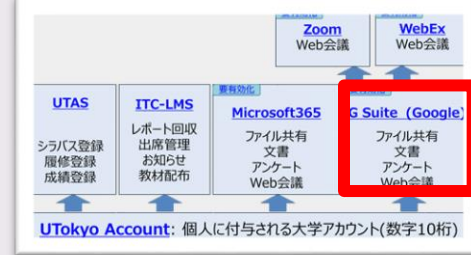
- ◆ A.からB.を経由する場合と C.に行く場合がある
 - ◆ B.では **..@utac.u-tokyo.ac.jp** を打ち込む (tips: 実は @の前はどうでもいい)



夏学期当初からのサービス変更

- ◆ Microsoft One Driveで組織外とのファイル共有を可能にしました
- ◆ それによりMicrosoft One Driveで「ファイルのアップロード」機能が有効になりました
 - ◆ 組織外の人（e.g., 受験生）からの答案回収
- ◆ Teamsを教職員向けに有効にしました
 - ◆ [サインイン](#)時にTeamsのアイコンが出ます

G Suite (Google)

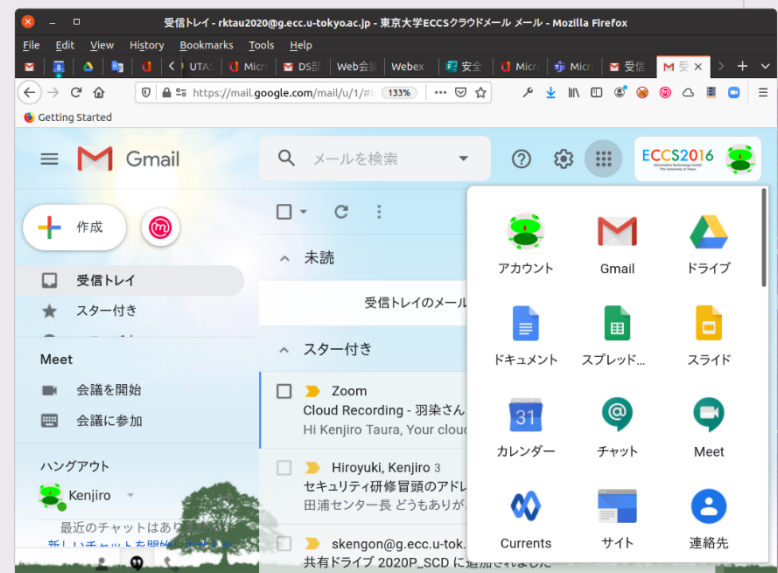


- ◆ G Suite ≈ 組織で契約するGoogleサービス
- ◆ 東京大学が契約しているG Suite = ECCSクラウドメール
 - ◆ G Suiteは様々なアプリの集合で、〇〇メールという呼び方はややミスマッチm(_ _)m
- ◆ サインイン
 - ◆ <https://mail.google.com/a/g.ecc.u-tokyo.ac.jp>
 - ◆ アカウント名 xxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
 - ◆ xxxx部分、パスワード: 自分で設定

G Suite



- ◆ ファイル共有: Google Drive
- ◆ 文書作成: Google Document, Spreadsheet, Presentation
- ◆ アンケート: Google フォーム
- ◆ Web会議: Google Meet
- ◆ LMS的機能: Google Classroom



M と G 整理

	M社	G社
ファイル共有	OneDrive	Google Drive
オフィス系ソフト	Word, Excel, PowerPoint	Googleドキュメント、スプレッドシート、スライド
Web会議	Teams（教職員のみ）	Google Meet
アンケート・クイズ	MS Forms	Google Form
LMS相当機能	Class Notebook	Google Classroom
本学アカウント	10桁@utac.u-tokyo.ac.jp	文字列@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

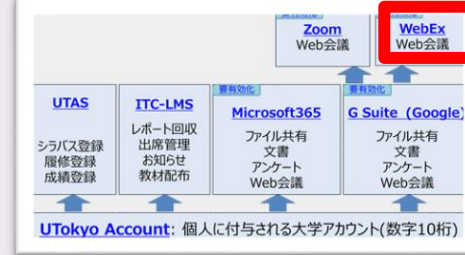
MとG大学組織契約の存在価値

- ◆ 大学内の不特定多数の人と情報を共有

ドキュメント共有の種類

- ◆ 共有範囲
 - ◆ 特定の人を名指し
 - ◆ 組織内（ECCSクラウドメール）
 - ◆ 誰でも
- ◆ 検索で見つかるか否か

Zoom



◆ 有効化

- ◆ https://utelecon.github.io/zoom/create_account
- ◆ 10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp をメールアドレスに指定してください（10桁: UTokyo AccountのID）

◆ サインイン

- ◆ <https://zoom.us/>
- ◆ 10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jpで

Zoomアカウントの今後

- ◆ Zoomアカウント名（サインイン用メールアドレス）
- ◆ 大規模会議、ウェビナー
- ◆ 説明ページ

Zoomアカウント名（サイン用メールアドレス）について

- ◆ 以降、10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp のみを有効な Zoomアカウント名（サイン用メールアドレス）とします
 - ◆ そうでない場合は変更してください。方法：
 - ◆ <https://zoom.us/profile>ページのSign-In Email
- ◆ 現在は任意の xxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp で使えてしまいますが非公式です
- ◆ 10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp でない人には、お知らせを流しますが、なくともお早目の対応をお願いします

大規模会議とウェビナー

- ◆ 現在：以下が全員に付与されている
 - ◆ 大規模会議（500人収容）
 - ◆ ウェビナー（500人収容）
- ◆ 変更後：
 - ◆ 大規模会議（500人収容）300アカウントまで
 - ◆ ウェビナー（500人収容）50アカウントまで
 - ◆ ウェビナー（3000人収容）若干

大規模会議、ウェビナーの運用 (割り当てポリシー)

- ◆ 大規模会議：授業に必要な先生のアカウントに割り当てる
 - ◆ [申込フォーム](#)
- ◆ ウェビナー：必要な授業やイベントごとに必要な期間中のみ割り当てる

FAQ

- ◆ Zoomを授業以外のことに使ってもよいのか?
 - ◆ 授業に限定していません
 - ◆ 本学の教育研究、本学構成員としての職務のためであればOK
 - ◆ 明文化された利用規定は今後
- ◆ Zoomの大規模会議ライセンスは授業以外にも割り当ててもらえるのか?
 - ◆ ウェビナーのように一時的に割り当てます
 - ◆ WebExの利用もご検討ください

WebEx

◆ 有効化

- ◆ https://utelecon.github.io/webex/create_utelecon_account

◆ サインイン

- ◆ <https://utelecon.webex.com/>

◆ 機能

- ◆ WebEx meeting（1000人まで） \approx Zoom Meeting
- ◆ WebEx Events（1000人まで） \approx Zoom Webinar

Web会議比較

	Zoom	WebEx	Meet	Teams
デフォルト収容人数	300	1000	250	?
国境問題	中国でアプリ提供停止		中国から使えない	
E2E 暗号化		○		
同時に複数開催		○	○	?
待機室	○			
手上げ	○	○		
投票	○			

◆ Meet 10月から新機能追加

<https://japan.googleblog.com/2020/08/google-for-education.html>

多すぎるアカウントのまとめ

UTAS	10桁 (@utac.u-tokyo.ac.jp)
ITC-LMS	10桁 (@utac.u-tokyo.ac.jp)
Microsoft (含 Teams)	10桁@utac.u-tokyo.ac.jp (*)
Google (含 Meet)	文字列@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
Zoom	10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
WebEx	10桁@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
UTokyo Account利用者メニュー	10桁

パスワード連動
(つまり同一のアカウント)

Q. ややこしすぎませんか？

- ◆ はいm(_ _)m
- ◆ 改善（アカウントの統一・連携）に向けた努力をします